

平成28年 9月号(238号)  
(皇紀2676年)

編集・発行人 瀬戸 開

# 新風

維新 新風

東京都中央区日本橋蛸殻町1-6-4  
第三カネタツビル103

TEL.03-5642-0008 FAX.03-5642-0009  
http://shimpu.jpn.org/  
otayori@shimpu.jpn.org

【京都事務所】

〒604-0934 京都市中京区麩屋町通二条下ル  
第2ふじビル4階  
TEL.075-708-3700 FAX.075-708-3800  
kyoto@shimpu.jpn.org

年間購読料 2,000円

# 皇位としての國體

黒田秀高 (副代表)

畏き今上陛下のお言葉が、去る八月八日放映されたのを拝し奉りて、改めて皇位の重大さを慮らざるを得ない。

皇位については、『弘道館記』に「上古、神聖、立極重統、天地位焉、万物育焉」と誌してゐるのを、平泉澄は「四極を立て」は最高の位をお極めになつた。天皇の位にお即きになり、天皇を以て秩序の根本、本源とされて、そしてその後、その御血統が、これを御嗣ぎになつたのであります。それによりまして、『天地位し、万物育す』自然の秩序は立ち、そして全てのものがその中に成育し、繁榮するに到つたのであります。……歴史は『神聖極を立て統を垂れたまひ』日本の秩序が出来上がった時に、日本の歴史は始まるのであります」と述べてゐる。

大局的に皇位は、天壤無窮、宝鏡奉斎、齋庭の穂の三大神勅に基づいてゐると捉へられ、それ故に先帝陛下はポツダム宣言受諾に際し給ひ、「敵が伊勢湾付近に上陸すれば、伊勢熱田両神宮は直ちに敵の

圧制下に入り、神器の移動の余裕はなく、その確保の見込が立たない。これでは國體護持は難しい。故にこの際、私の一身は犠牲にしても講和をせねばならぬと思つた」と仰せ給はれたこと

とが、御用掛の寺崎英成の『昭和天皇の独白八時間』に記されてゐる。

辱なくも「大東亜戦争終結の詔書」に於いて、「茲二國體ヲ護持シ得テ」と明確に仰せ出され給うたことを有難く拝し奉るべきである。ここで國體とは權威の淵源を意味するといふことを闡明しておく必要があるであらう。而して吾が國の權威は畏き皇位に他ならないのは云ふを俟たないことである。

ただ実を以て恐懼に耐えない次第であるが、昭和二十一年元旦の「年頭、国家振興の詔書」に於いて、「國民トノ間ノ紐帯ハ……單ナル神話ト伝説トニ依リテ生ゼルモノニ非ズ」と仰せ給はれたのは、國體論上瑕疵が残ると捉へざるを得ないことである。但しここにはポツダム宣言受諾を巡つての敵側の欺瞞が存してゐたのは周知の如くである。即ち吾が國の条件付受諾に対し、米國務長官バーンスによる「日本ハ降伏ノ瞬間カラ、日本天皇及日本政府ハ降伏条件

ヲ実行ニ移ス間、必要間ト認メラルヘキ措置ヲトルデアラフトコロノ連合國最高指揮官ニ從屬サル (subject to) ヘキモノトス」(參謀本部訳)の回答に基づき、その支配下に於いて憲法の作意をはじめ、畏れ多くも勅語の失効など様々な占領政策がなされた結果としてである。

辛亥革命時の思想家梁啓超は『新中国未來記』のなかで「わが中國は革命の國體」と述べてゐるが、まさに支那に於いては天命が權威の淵源であり、これを以て國體が成立してゐると云へよう。春秋五霸、戰國七雄の乱世の時代にあつても、權威としての天命を受けてゐたのはあくまでも周王朝であることを認識すれば容易に出来るであらう。

縷述するまでもなく、吾が國の權威は万世一系の皇位である。權威と權力とが等号で結ばれる事は強ち非とは云へないが、危惧せねばならないのは、權力が權威を拘束する時であり、それは過去には徳川幕府による禁中並公家諸法度が存し、現在に於いては戦後体制と称される占領政策である。

祭政一致、君民一心同体を理念とする畏き皇位の継承こそが、吉田松陰が『講孟叢話』で説く、万国に卓越せる「一國ノ獨」としての悠久なる國體の本質であり、これの恢弘が今日求められてゐる課題なのである。

皇位は、皇統に属する男系の男子が、これを継承する。

第二章 皇位繼承

第一条 皇位は、皇統に属する男系の男子が、これを継承する。

第二章 皇位繼承

第一章 皇位繼承

## 新風驟雨

しんぶうしゅう  
▼三江線が来年九月廃止されるとの報道が九月一日なされた。広島県三次市から島根県山間部を走る路線だ。沿線自治体の首長も反対しなかつた。赤字がひどいからだった。国鉄民営化で赤字ローカル線の廃止は続いた。今後も続く見込みださうだ。

▼郵政民営化もなされた。小泉内閣だった。郵政民営化と国鉄分制民営化の原因はそれぞれ異なるらしい。らしいとは原因理由について様々に言ひなされておて素人の私には真偽何れとも判断しかねるからだ。

だが郵政民営化にはアメリカの要求があつた事も事実だつた。小泉さんはこの事を選挙の時に国民には言はなかつた。国鉄民営化の目的は労組対策だつたとは、後年中曾根さんの告白だつた。

▼私の学生時代、減反政策が導入された。我が国が有史以来初めての事で、神勅に反する事だつた。米の飯を全国民が十分食べられるやうになつたのは昭和四十年代の事だつた。

▼敗戦後の食糧不足は必然だつた。厚生省は食糧の普及に懸命、学校給食はパン食の普及に懸命、アメリカの食糧援助もあつた。敗戦、食糧不足、アメリカの援助、粉食奨励、米余り、減反、労働奨励、同盟罷業、政治家の要求路線敷設、赤字、アメリカ力商務省の要求、郵政民営化。

右は素描である。いつもアメリカがある。

▼地方の過疎化対策とも言へる地方創生。安倍内閣の公約である。アメリカを見据へてゐるのだろうか。地方は蘇るのだろうか。(戸)

本紙目次

一頁：國體としての皇位

二頁：現行・皇室典範

三頁：新風ニユース他

二頁へつづく